



通信 VOL.15

〈新米コシヒカリ出荷特別号〉

2009年(平成21年)9月15日 火曜日
発行/南坂井ファームクリエイト
発行者/坂井孝一
〒950-1133 新潟市江南区嘉木12
TEL 025-280-4300
FAX 025-280-3400
☎ 0120-051858
(おこめはこんぱち)
E-mail: sfc@sakaif.jp
http://www.sakaif.jp

田んぼのあぜ道で考える。 環境に無理のない暮らしとは…?

最近、環境悪化が叫ばれています。主な原因は二酸化炭素排出、化石燃料の大量消費、人口増加などといわれています。幾千年と続いてきた耕種農業を、私たちが「文明の恩恵を受けながら」続けてきました。農業機械による生産性の向上、ハウスやマルチング等ビニール化学製品も使用し、トラクターの燃料をはじめ物や人が移動するためには大量の燃料を消費します。



9月25日
発送!

新米「こん八」 いよいよ出荷



一年の移ろいは早春の田起こしから始まります。雪混じりの「ゆきしろ」に、鍬(くわ)を打ち込み土を返していく、とても寒く辛い作業。過酷な労働に、

一面が水面で、大河信濃川と阿賀野川が蛇行し、豪雨の度に運び込まれた大量の土砂がわずかな高台を作っているこの地に、人々は「米を作れる」という希望だけで移り住み、小さな集落を構えました。

「では、環境に無理がない生活とはいったいどういうものだろう?」と考えるとき、一例として、ほんの数十年前のこの地域(「こん八」の故郷)の生活を再現することができず。

細かいイネのチリが舞い上がる中、家族総出でひと束ずつひと束ずつ籾粒を離していく…。もみガラから玄米がようやく顔を出した、収穫を心から喜べる瞬間。とりあえずの食料を確保した家族全員の笑顔!

早めの秋祭りを終えて、早生イネからの刈り取り。手早くマルチケテ(束にして)は人の字に立てかけての予備乾燥。しばらくして舟に積み込み高台のはざ場に運び、前の冬に編んだ縄と裏の竹林から切り取った細竹で見上げるように幾段にも重ねていきます。雨が降る前に急いで小屋に入れ、翌早朝はいよいよ脱穀です。

坂井ファームにやってきたメエ~!



こんにちは。6月から坂井ファームの家族に加わったヒツジの「ママ」です。強面の社長に初めて会った時はビクビクしたけど、毎日田んぼに連れてって草をお腹いっぱい食べさせてくれる今では、とっても仲良し。探彩のお客さんにもエサをもらったり、なでてもらったり。広い家まで作ってもらえてとっても幸せです。そうそう、最近私たち7匹の名前を募集したところ150通も応募があった、それぞれにぴったりの名前を付けてもらったよ。ちなみに私は枝豆が大好きだから「ママ」だ。毛皮のせいで夏の暑さには参ったけど、これから食欲の秋!たくさん食べて来年には立派なお母さんになれるよう頑張るよ!

(坂井こん八9代目)

そして暦は春。春耕はすぐそこに…。これが少し前の生活です。あのころ、植物が二酸化炭素を吸収するのと、われわれの生活での排出とのバランスは十分に取れていたはずなのに…。かつての暮らしに思いをはせながら、今年も「こん八」をお届けします。

先が眼に刺さって痛い! 一番必要な食べ物はおにぎり、それをほおばると、カラダの底から力が湧いてくるのでした。春の好天で水が下がり、ようやく田が顔を出したところに、ぬかるみながら長く伸びた苗を植えているような稲の間の雑草を、抜き足で土中深くに埋め込んで行くのですが、伸びたイネの葉

みぞれが降る頃までかかってようやく収穫が終わる、もうすぐ地吹雪が吹き荒れる冬のために、川原からヨシを切り出し稲ワラを詰めての冬開け。雪がしんと降り積もる冬、里山から切り出した生木を囲炉裏にくべながら暖を取り、冬仕事の縄ないをします…。歳夜(としや)を越せば、災いのないことと豊作を祈り鍋の中の白い餅を腹いっぱい食べられる正月です。

紙面から

新米「こん八」いよいよ出荷

○田んぼの
あぜ道で考える…

探彩

◆探彩が7周年を迎えました

- ・ 県外生産者のご紹介
- ・ 新商品
- ・ 小松菜十越後姫口ルケーキ

みんな探彩に大集合!



農家持ちより市場 採彩が7周年を迎えました

新商品!

「小松菜+越後姫ロールケーキ」

¥1,050



カラーでお見せできず残念!

坂井ファームと、地元イタリアン・レストラン「アーアツァゼータ」のコラボレーション企画!

採彩のオリジナル商品で、お客様にも生産者にも喜ばれる“何か”を作りたい…。そう考えているうちに、偶然(そして必然)出会ったのが、野菜スイーツを作っている柿沢安耶さん。東京・中目黒にオーガニック野菜を使ったスイーツのお店を出しています。彼女との出会いからヒントを得て、私も曾野木自慢の野菜と果物を使って野菜スイーツを作りたい!と思うようになりました。

しかし私にはワザがない…。そう悩んでいるうちに、偶然(そして必然)採彩によく買い物に来てくださっているイタリアン・レストラン「アーアツァゼータ」の野菜ソムリエである木村さんに相談する機会を得ました。そしてアレヨアレヨという間に、商品を作りましょう!というお話しに。アーアツァゼータさんの全面協力のもと、何度も試作と話し合いを繰り返して、今年3月、めでたく第1弾が完成しました。

坂井ファームの小松菜をスポンジに練り込み、採彩の生産者さんの越後姫(イチゴ)をたっぷり使ったロールケーキ。また来年の春、皆さんのお手元に届けられたいいな…と思っています。どうぞご期待!!

昨年(2008)の4月に、直売所「採彩(さいさい)」に配属された私ですが、この1年間、採彩の四季を通して感じたことがあり、お客様からよく「オススメは何ですか?」と尋ねられることがありますが、そのたびに私は答えに窮してしまっています。なぜなら、旬の野菜しか並べない採彩では、今ここに並べられている商品の全てが「オススメ」だからです。同じように「〇〇はありますか?」と聞かれるときも…。私の地元、曾野木(そのきの)の農家が得意とするナスやトマトやキュウリ等は、スーパーマーケットのように一年中商品棚に並んでいるわけではあ

りません。お客様に「〇〇月にならないとその野菜はお店に出ません」と、謝ることの方が多いためですが、それこそが新潟の本当の旬を扱う「農家持ちより市場 採彩」というお店なんだ、と思うようになりました。採彩を通してお客様に新潟の旬を感じ、楽しみ、喜んでいただく。お店の内装が少々ダサくても、野菜が不恰好でも、野菜の味は本物だからと、笑って許してくださるお客様に支えられて、採彩は成り立っています。この採彩ならではの持ち味を、これからも大切に守っていきたく、強く思っています。

採彩は新潟の本当の「旬」を扱っています



県外生産者のご紹介 <2人も私の大学時代の同級生、寮生活でともに泣いて笑った大親友!>



白田くん。山形から3時間、りんごを持って採彩に到着

写真左は、山形県りんご生産農家の白田憲彦くん。9月の早生品種「つがる」から、りんごの王様「ふじ」など約10種類のおいしいりんごが半年間ほど採彩に並びます。一方写真右は熊本県デコボン生産農家の山本陽介くん。山本くんのデコボンは、3月から約3ヶ月間、キズ、デコボンの「デコ」が足りないなど、いわゆる「B品」を安価でわけてくれています。見た目は少々悪いですが、うまさや鮮度にはなんの変りもなく自信があります。最近ワンコインセットはできるだけたくさん野菜が入るように心がけています。家で調理する際は見た目より、味や量の方が重要ですね! 彼らの作った果物もワンコインに登場するので、ぜひご利用ください。

デコボンの山本くん私。[全国青年農業者会議] (東京・3月)にて、農業の世界は狭いので、ちよっとした会議でも大学の同級生や先輩によく会います。



集いの広場 ~この1年~



曾野木商工会祭



ジャズライブ

みんな採彩に大集合!

採彩は、ただ商品を提供するお店としてだけでなく、人と人をつなぐ場所になりたいと考えています。今年もまた、たくさんの方々が集まってくださいました。

10月19日、曾野木商工会祭当日。採彩前の広場には、曾野木地区商店の出店が並びました。また、最近注目を集めている地域限定型ヒーロー・江南戦隊ゆめレンジャーショウも開催され、ちびっ子からお年寄りまで、たくさんのお客様に笑顔をお届けすることができました。

また、おなじみとなったジャズライブですが、今年は8月2日に開催。採彩の前店長である窪田くんが、熱い歌声を空に響かせ、喝采を集めました。

10月15日には曾野木中学校の生徒から18人、1月には保育園児40人、6月には曾野木小学校2年生11人が訪れ、収穫から販売までを体験。採彩に若いパワーがはげました!



中学生職場体験



ちよっと緊張...



編集後記

●夏の甲子園、日本文理準優勝おめでとう! 決勝戦、採彩はまさかのお客様ゼロ!皆さん自宅のテレビにかじりつき(笑)?私もラジオから流れる実況を聞きながら、飛んだり叫んだり笑ったり。文理高校の凱旋式、私の目に飛び込んできたものは、決勝戦翌日にも関わらず練習再開している野球部の姿。背中には「才能の差は小さいが努力の差は大きい」の文字。たくさん感動をもらった忘れられない夏でした。(涼子)

●羊が坂井ファームを変えたもの…雑草→エサ、芝広場等々いっぱいです。そして草地に遊ぶ羊を見ながらの夕日や沈む時の缶ビール一本が、また格別です。「ごん八」収穫後、今年の秋から冬まで田んぼに水を張っておくことにしました。多様な生物と土を休ませるために。トキも50キロ位はひとつ飛びするそうなので、ドジョウやタニシなどを準備して、お待ちしています。(B^o坂井)

ごん八と一緒にお届けします!

坂井ファームの手つき餅

(12月~1月)

こんなに便利な世の中で、今どき珍しい手つき餅です。粘りと腰が違います。つく人が粘りながら腰いれて頑張ってますから。



ワンコインセット

採彩で取り扱っている野菜等を「ごん八」と一緒に発送します。

プラス500円で、採彩オススメの季節の野菜や果物を「ごん八」と一緒にお届けするワンコインセットは大好評!ワンコインで毎月2~5種類の野菜をお届けしています。



「手つき餅」「ワンコインセット」ともに、ご注文は注文用紙またはお気軽にお電話ください。

ご注文・お問い合わせ先
坂井ファーム TEL025-280-4300